

私は昔の子どもたちはどんな道具で遊んでいたのが気になったので、お母さんの子ども時代、三十五年くらい前の遊び道具を調べてみました。

はじめに、パリコンのインターネットで調べてみました。お手玉という道具です。主に女の子が遊ぶのに使っていました。

形は丸、ぼく、色鮮やかなぬのの中に、小豆などをに入れてあります。遊び方は、かた方の手でお手玉を投げて、もうかた方の手でキャッチします。キャッチしたしゅんかに、キャッチした手の反対の手でお手玉もって投げます。そのくりかえしで回せるお手玉の数をきょうぐえんだそうです。

ぜひ、手作りのお手玉で遊んでみたいですね。次に、お母さんに聞いてみました。ゴムなわという道具です。わゴムの長いバーション

で向かいあっている二人の足にひかけて、ゴムなわ用のわらべ歌に合わせて、ゴムを使って足のわらべをきょうぐえん遊びだそうです。

また、お母さんに聞いてみました。ローラースルーパーという道具です。女の子も男の子にも大人気で、おもちゃ屋さんで売られ続出したそうです。今の道具でスクーター(キックボードともいう)というのがありますが、ローラースルーパーは後ろに足こぎ式のバギーがついていて、スピードが出るから、ブレーキもついています。

インターネットの動画で見たり、すごく楽しかったのも、乗ってみたいと思いました。

ゲームなどの遊び道具で遊ぶことが少なく、外で遊ぶ用の道具が多

いことがわかりました。ゲームオバがなくて、ずっと遊んでらねて昔はいいなと思いました。

